PL賠償責任加入済

ITOKI

保存版

ユニットデスクⒹ

取扱説明書〔保証書付〕

ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しい使いかたで末永くお使いください。

この度はイトーキ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この説明書は、製品の使い方と、ご使用上の注意を記載しています。お読みになったあとも、大切に保存し、わからない時にご再読ください。

商品のお問い合わせは、お買い上げの販売店までご連絡ください。

株式会社イトーキ 〒536-0002 大阪市城東区今福東1丁目4-12

■お客様相談センター 0120-164177

■東日本地区 〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー19階 ☎03(6908)8050(代)

■西日本地区 〒536-0002 大阪市城東区今福東1丁目4-12 ☎06(6935)2009(代)

イトーキ 学習机保証書

品名		
品番		
おところ		
おなまえ		
お買い上げ日	年 月 日	
保証期間	1年	外観・表面仕上（塗装及び樹脂部分の変・褪色、クロスの摩耗）
	2年	機構部・可動部（引出し、スライド機構、錠前、昇降機構の故障）
	3年	構造体（強度・構造体に関わる破損）

販売店 ㊞

〈ご注意〉
保証書に所定事項の記入がない場合は本証とともに、お買い求め先の領収書を保存してください。
サービスマンがご訪問の節は必ずご提示ください。

株式会社イトーキ
〒536-0002
大阪市城東区今福東1丁目4-12

〈保証規定〉

1. 保証期間内に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。修理はお買い上げの販売店に本保証書を添えてご依頼ください。
2. 次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。
   - ㋑お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障
   - ㋺取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかった原因による故障
   - ㋩消耗部品の消耗又はそれによる故障
   - ㋥火災・塩害・異常電圧・地震・雷・風水害・その他天災地変などによる故障
   - ㋭お買い求めの販売店もしくは当社以外での修理改造等による故障
   - ㋬離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費
   - ㋠追加部品（鍵・棚・フック・引き手等）又は、お客様破損による追加部材等のご要望は有償となります。
   - ㋡保証書の提示がない場合
3. 運賃等の諸費用はお客様にご負担していただく場合があります。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
6. ご使用前に取扱説明書をご一読ください。
7. 補修用部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年間です。

1 ⚠ 安全上の注意事項

製品を安全に正しくお使いいただくため、必ずお守りください。

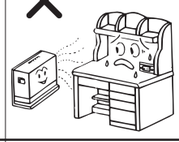
注意の種類の規定: JOIFA（社団法人日本オフィス家具協会）の規定に基づいて危険や損害の程度を次の表示で区分しています。

⚠警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠注意 取り扱いを誤ると傷害を負う可能性が想定されるか、拡大物的損害のみの発生が想定される場合

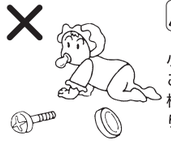
⚠警告

机をセットする時、机の下に電気コードをはさまないでください。発熱・発火の原因になります。



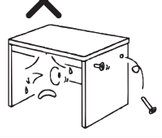
⚠警告

火のそばで使わないでください。火災の原因になります。



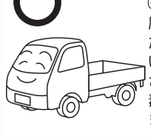
⚠警告

小さな部品の取扱いにご注意ください。お子様が飲み込むことがあります。



⚠警告

ボルトやネジがゆるんだままで使わないでください。商品の破損の原因になりケガをすることがあります。



⚠警告

廃棄するときは、許可を受けた業者か各自治体が実施している廃品回収を利用してください。樹脂製品を燃やすと有毒ガスが発生する恐れがあります。

⚠注意

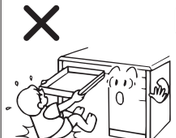
必ず2人で組み立ててください。商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意

天板や引出しの上にのらないでください。商品の破損や転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意

机の移動は1人でしないでください。机の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

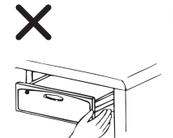


⚠注意

引出しを無理に引かないでください。ストッパーが破損して引出しが落下し、ケガをすることがあります。

⚠注意

ホルマリン臭がするときは充分に換気してください。目が痛くなったり、肌の弱い人はアレルギーをおこすことがあります。



⚠注意

可動部のすきまに指を入れないでください。はさんでケガをすることがあります。

⚠注意

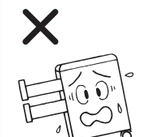
棚板には10kg以上の物をのせないでください。商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意

本体や書棚、ワゴンの上にのらないでください。商品の破損や転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意

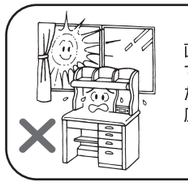
書棚と机を離して使用する場合は、必ず転倒防止金具を使用してください。書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。



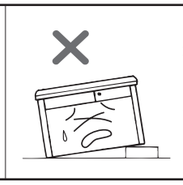
⚠注意

複数の引出しを同時に引き出さないでください。ワゴンの転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

2 ご使用上の注意



直射日光があたる場所でのご使用はさけてください。変形・変色の原因になります。



水平に設置してください。引出しが固くなったり、ひずみの原因となります。

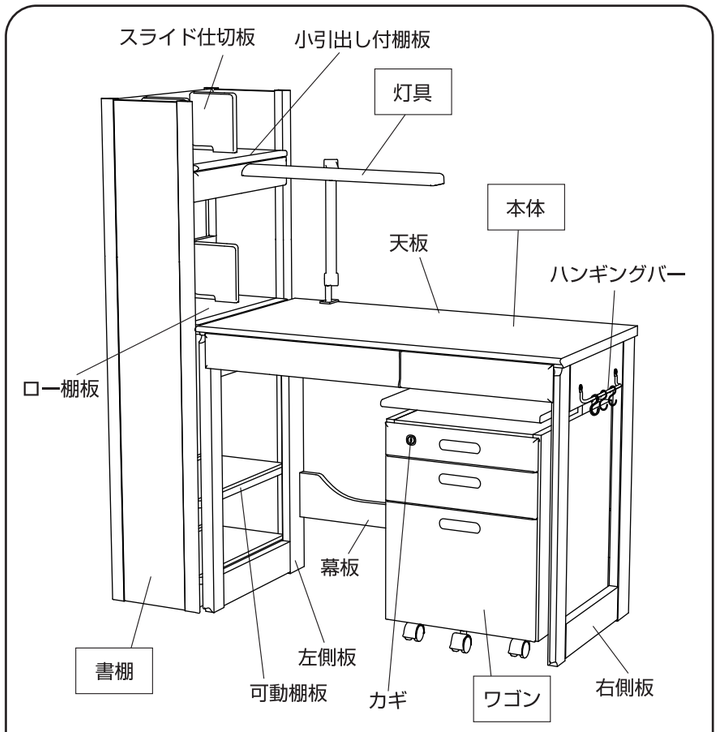
フローリングや畳の上でご使用になる場合はカーペット等を敷いてください。床や畳等に傷がつくことがあります。

湿気の多い場所には設置しないでください。カビ発生の原因になります。

お手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。シンナー、ベンジンや化学ぞうきん等は使用しないでください。変色・変質の原因になります。

3 各部の名称

※展示品とお届け品では多少木目柄や色が異なる場合があります。
※灯具はタイプによって異なります。



※平机のみをご購入の場合、灯具、書棚は、付属しておりません。

4 組み立てについて

⚠警告 ボルトやネジがゆるんだままで使わないでください。商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意 必ず2人で組み立ててください。商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

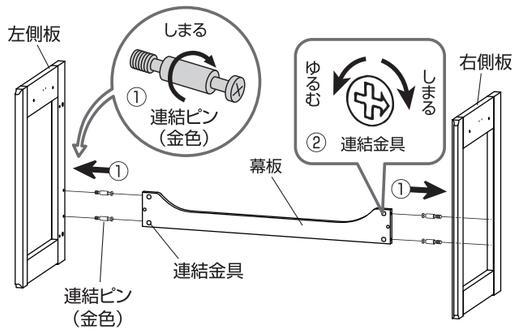
⚠注意 必ずプラスドライバーを使用して下さい。マイナスドライバーを使用するとピンが折れてケガをすることがあります。

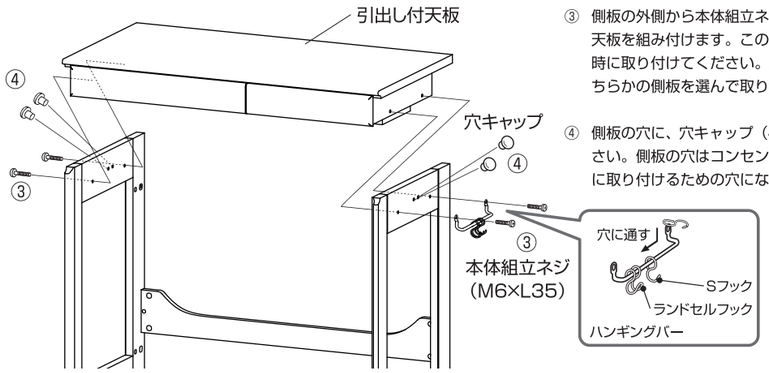
本体の組み立てかた

部品名	組立てネジ(M6×L35)	連結ピン	ハンギングバー	幕板固定ネジ(M6×L30)	穴キャップ
数量	4	4	1セット	2	4

① 左右側板に連結ピン（各2ヶ）を取り付けてください。

② 幕板の連結金具が外側を向いていることを確認してから、左右側板の連結ピンを幕板の連結金具に差し込み、各連結金具をプラスドライバーで締め込んでください。





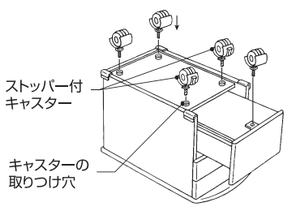
③ 側板の外側から本体組立ネジ（4ヶ/M6×L35）で天板を組み付けます。この時、ハンギングバーを同時に取り付けてください。ハンギングバーは左右どちらかの側板を選んで取り付けることができます。

④ 側板の穴に、穴キャップ（4ヶ）を取り付けてください。側板の穴はコンセントボックス（別売）を本体に取り付けるための穴になります。

ワゴンキャスターの取り付けかた

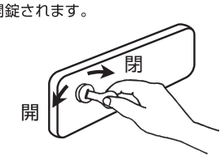
ワゴン底板と下段引出しの底板のキャスター取り付け穴にキャスターの支軸を強く押し込んでください。

※ストッパー付キャスター(2ヶ）は図の様にワゴン底板の前板に取り付けてください。



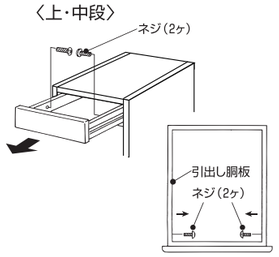
錠前の使いかた

カギを差し込んで時計回りに180°回すと施錠され、反時計回りに回すと開錠されます。

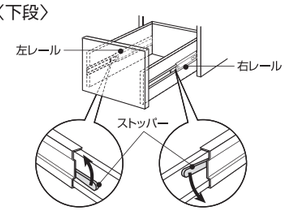


引出しの取り外しかた

〈上・中段〉



〈下段〉



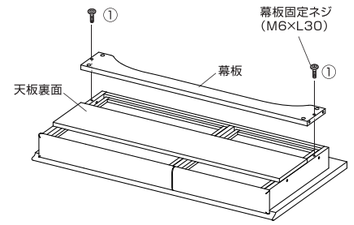
【上・中段】
引出し胴板内側のネジを外すと、引出しを取り外せます。

【下段】
引出しをいっぱいまで引き出し、右レールのストッパーを下方向に倒し、左レールのストッパーを上方向に倒して引出しを引き抜いてください。

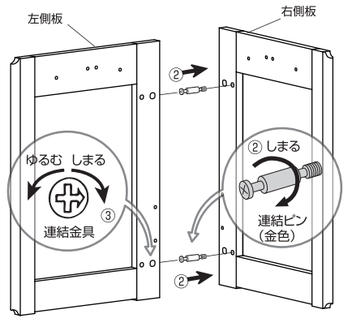
※引出しが固い場合には、全ての引出しを引き出してからご使用ください。引出しがスムーズに動くようになる場合があります。

本体(書棚連結)の組み立てかた

書棚は机本体の左右どちらにでも取り付けることができます。
ここでは、書棚を机に向かって左側に取り付ける形でご説明しております。

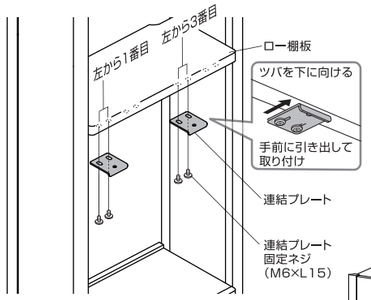


① 幕板を幕板固定ネジ（2ヶ/M6×L30）で、天板裏面に取り付けてください。



② 右側板に、連結ピン（2ヶ/金色）を取り付けてください。

③ 左側板の連結金具の矢印が外側を向いているか確認してから、連結ピンをピン穴に差しこみ、連結金具をプラスドライバーで「しまる」の方向にしっかりと締め込んでください。

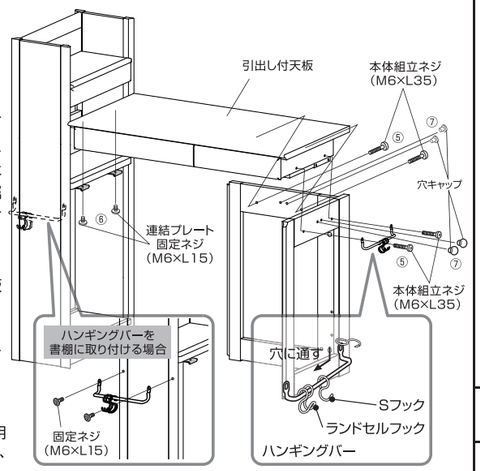


④ 連結プレート（2ヶ）を連結プレート固定ネジ（4ヶ/M6×L15）で、書棚のロー棚板に取り付けてください。この時、ツバを下に向けて連結プレートを手前に引き出した状態で取り付けてください。取付箇所は、左から1番目と3番目です。

⑤ 側面と後方から本体組立ネジ（4ヶ/M6×L35）で天板を組み付けます。この時、書棚と連結していない側にハンギングバーを同時に取り付けてください。ハンギングバーは書棚に取り付けることもできます。書棚に取り付ける場合は、書棚付属の固定ネジ(2ヶ/M6×L15)で取り付けてください。

⑥ 連結プレート固定ネジ(各1ヶ/M6×L15)で天板と書棚棚を固定してください。

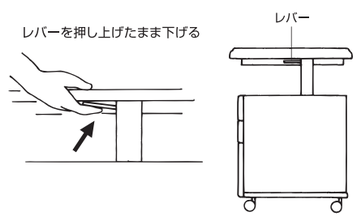
⑦ 左右側板の穴に、穴キャップ(各2ヶ)を取り付けてください。



⚠注意 机本体と書棚は必ず連結して使用してください。転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

ワゴン天板高さの調節のしかた

※天板高さが調節できない機種もあります。



※ワゴン天板上には70kgまでの物を置くことができます。

ワゴン天板をお好みの高さに調節して、補助天板として使用できます。

【天板を上げる時】
両手で天板を持ってゆっくりと上げてください。

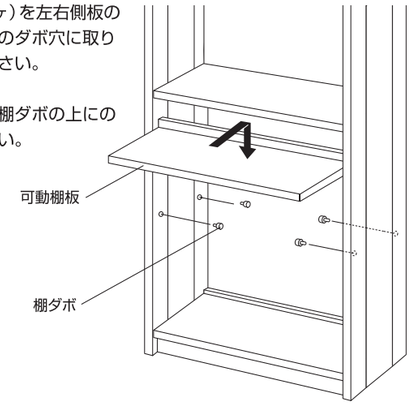
【天板を下げる時】
両端のレバーを押し上げるとロックが解除され、下げる事ができます。天板を少し持ち上げるようにしてから、ゆっくりと下げてください。レバーから手を離すと再びロックがかかり、天板高さは固定されます。

書棚の組み立てかた

部品名	棚ダボ	転倒防止金具	連結プレート	固定ネジ(M6×L15)
数量	4	1セット	2	8

① 棚ダボ（4ヶ）を左右側板の任意の高さのダボ穴に取り付けてください。

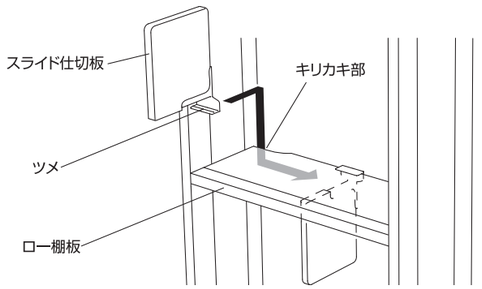
② 可動棚板を棚ダボの上にのせてください。



スライド仕切板の取り付けかた

① ロー棚板・小引出し付棚板の左右にあるキリカキ部に、スライド仕切板のツメを差し込んでください。

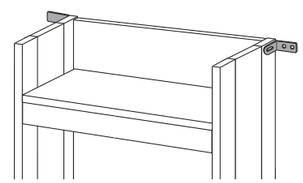
② そのままゆっくりと横方向にスライドさせて、お好みの位置でご使用ください。



転倒防止金具の取り付けかた

① 書棚を壁面につけて設置してください。

② 左右側板に転倒防止金具を取り付けてください。



⚠注意 書棚は部屋の真ん中には設置せず、壁や柱に転倒防止金具で固定してください。書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意 転倒防止金具は、必ず壁の芯材がある部分に取り付けてください。書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。